

開倫塾で自覚を高め、勉強の仕方を身につけ成績を伸ばそう

—新学年スタートにあたって塾長からのメッセージ—

開倫塾

塾長 林明夫

Q：新学年のスタートにあたって開倫塾の塾長として、塾生の皆様に一言メッセージをお願いします。

A：(林明夫。以下省略)開倫塾の塾生の皆様、新学年に御進級おめでとうございます。新しい学校に入学なさった皆様、御入学おめでとうございます。開倫塾の代表として、心よりお祝い申し上げます。

皆様が「開倫塾で学ぶ目的」は、おそらく2つあると思います。その1つは「学校成績の向上」、もう1つは「希望校合格」。そのための「学力の向上」であると思います。

学年のはじめに、「学校成績を向上」させ、「希望校に合格」するために、どのように「学力の向上」をはかったらよいかを皆様とご一緒に考えてみたいと思います。

Q：どうしたらよいか、できるだけ具体的にお話下さい。

A：「学力を身につける」上で一番大切なことは、「本人の自覚」です。「自覚」をもって勉強することが最も大切です。何のためにこの1年間勉強するのか、勉強する目的をしっかりとつことが大事です。

その上で、勉強や生活の上で自分の得意とすること、苦手とすることをはっきり「自覚」すること。得意なことは、誰に遠慮することなくどんどん伸ばすこと。苦手なことは、よく「理解」していないこと、十分わかっていないところにまでできるだけ遡(さかのぼ)って、あせることなく、ゆっくりやり直すことです。

もしできれば、学校を卒業してからどのような生き方をしたいのかを少しずつでも考えることをお勧めします。その上で、この学校で今勉強するのはどのような意味があるかを考えることです。

1～2年後に上の学校への受験を控えている方は、希望する学校に進学したらどのような勉強をするのか、どのような生活をしたいのかをよく考えることです。

「自覚」をもつことは、今やっている勉強に勢いをつけます。「ターボエンジン」をつけたと同じになります。

「自覚」が足りないと、毎日がつまらなくなると、何のために生きているかわからなく感じることすらあります。

Q：「自覚」をもつためには、どうしたらよいでしょうか。

A：世の中のことをよく知ることです。そのために私は、小学生は20分、中学生は40分、高校生は60分以上新聞を毎日よく読んで批判的思考能力を身につけることをお勧めします。

本をたくさん読むことも、世の中のことを知る上で役立ちます。文庫(ぶんこ)本や新書(しんしょ)本がとても読みやすくなっていますので、開倫塾の塾生の皆様は毎週 1 ~ 2 冊は文庫本か新書本を読むことをお勧めします。

「伝記(でんき)」を読むといろいろな人の生き方がよくわかりますので、「自覚」をもつのに役立ちます。

いろいろな人のお話をじっくり聞くことも、「世の中」を知り、自覚を高める上で役立ちます。「自分以外、すべて師(先生)」と思い、人の話をよく聞く能力を身につけて下さいね。

Q：「自覚」の次に大事なことは何ですか。

A：「学び方」を身につけることです。ものごとを一度うんなるほどと「理解」するにはどうしたらよいか。一度「理解」したことを正確に「身につける」にはどうしたらよいか。「理解」し「身につけた」ことを使い、定期テストでよい点数をとったり、希望校に合格するだけの偏差値を確保した上で希望校に合格するにはどうしたらよいか。実際の生活や仕事で役立てるにはどうしたらよいか。

「学び方」を学ぶ能力を身につけることが第 2 番目に必要です。これを英語では、Learning To Learn(ラーニング・トゥ・ラーン)といいます。

開倫塾では塾生の皆様に「学習の 3 段階理論」をお伝えしていますので、皆様自身の学び方を身につけるために是非活用して下さいね。

Q：最後に一言どうぞ。

A：言い忘れましたが、学力の高い人は読書量が多いように私には思えます。新聞も、毎日なめるように読んでいます。

学校や塾の授業をよく聞き、よくノートを取り、わからないところはよく質問。授業が終わると、音読練習、書き取り練習、計算・問題練習をくり返しています。

過去に出題された問題は、5 ~ 6 回やっています。是非おためし下さいね。

今年 1 年どうかよろしく願いいたします。

— 2009 年 3 月 22 日記 —